

令和元年6月24日

## 「松本倉庫について ～求める人物像～」

松本倉庫株式会社

### **倉庫業とは**

倉庫業法で「寄託を受けた物品の倉庫における保管を行う営業」と規定されています。つまり契約に基づいて会社や個人から預かった（寄託を受けた）物品を倉庫に保管する営業のことをいいます。倉庫業を営んでいる事業所は全国に約 4,900 件あり、その所管面積を合計すると約 48,200 千㎡の広さがあり、月平均では 35,000 千 t の荷物が保管されています。

倉庫業は大きく分けて、普通倉庫（一般の製造物・農産物等）・冷蔵倉庫（摂氏 10 度以下での保管）・水面倉庫（港湾など水上での原木の保管等）の 3 つの種類に分けられます。

当社はその中の普通倉庫の許可事業を受け営業を行っています。

当社の倉庫面積は、約 38 千㎡で、荷物が 1.1 万 t 保管されており、お金に換算すると約 80 億円に相当する物品を預かっています。

倉庫業の仕事といえば、モノを預かること。（確実な保管）お預かりしたモノを傷つけず、濡らさず、乾燥したモノは乾燥したまま、湿ったモノは湿ったままの、お預かりしたそのままの形でお客様にお返しするのが使命で、とても静的な仕事でした。

現在の倉庫業の仕事は、お預かりしたモノをそのままお返しする静の倉庫から、お客様のニーズに迅速に対応し、お預かりしたモノに手を加え（付加価値を付け）お届けする、流通加工型（動の倉庫）へと変わっています。

この流通加工型（付加価値を付ける作業）とは、お預かりしたモノを検査し化粧箱に入れ替えたり、お預かりしたモノを詰め合わせ（ギフト）商品の用に詰め替えたりする加工ライン作業や、お客様の店舗毎にモノを一つ一つ（入庫順・日付順・大口・小口等）仕分けるピッキング作業等になります。

そして形を変えたモノは明日には店頭には並んでいるのです。このスピードも今日ではとても重要なものになってきました。（迅速な荷役）

### **安全性の向上**

今までの「確実な保管・迅速な荷役」に加え、物流サービスの「安全性の向上」といった面で、お客様の細かなニーズに応える為に、セキュリティシステムの完備・保管場所の環境の最適化はもちろんのこと、作業手順においても誰が担当しても一定のレベルのサービスが提供できるよう細かいルールを定め、高い物流品質を維持できるよう「安全性優良事業所」を目指しております。

## 今後のビジョン

お客様のニーズに対応するべく、モノの保管に併せて流通加工・ピッキング・梱包等の流通加工作業もお引き受けすると共に、受発注管理・商品情報管理等の総合的な物流管理サービスを提供していかなければならないと考えています。

## 当社の求める従業員像とは

当社の企業理念より

「松本倉庫株式会社は、信頼しあえる人のつながりをはぐくみ、常に地域に愛される会社を目指します。」

この理念達成に向けて、行動の指針として次の三項目を掲げています。

「わたしたちは、理解力・思考力・表現力を高めることが、互いの感情・意見・信条を尊重しあう基本と考えます。」

「わたしたちは、共に学び、共に育ち、共に喜びあえる人間関係をつくり、目標に向け力を結集します。」

「わたしたちは、社会人としての自覚を持ち、自らの行動に誇りを持ちます。」

倉庫業という仕事は、お客様のモノ（財産）を預かることが基本です。銀行がお金（財産）を預かるのと同じ事です。ですから、信頼を裏切らない、信頼されつづける事が何よりも大切です。またお互いに信頼しあうということは、お互いに頼りにしあうということです。だから一人一人が人に当てにされる人間にならなければなりません。

これが「信頼しあえる人のつながりをはぐくみ」の意味するところです。

また、経営理念の中に「わが社は、蓄積された信用と資産に感謝し、新たな展開とともに次代に継承します。」という一項があります。

まず、当社での従業員に必要とされるものは、コミュニケーション能力です。

人の話を丁寧に聞いて、相手は何を言いたいのか間違いなく聞き取ろうとする態度が身についているか、自分の意見や思っていることを相手にわかるように正確に伝える態度が身についているかです。コミュニケーション能力なくして「信頼しあえる人のつながり」も「蓄積された信用」もありません。

もう一つ必要とされるのが学ぶ習慣がついているかです。

一項の中に「新たな展開」とありますが、例えば、見通しの悪い藪の中を地図も何も持たず、手探りで進むようなものです。我々が通った跡が道になるのです。いわば無から有を生み出して行くことです。頼りになるものは、一人一人の中にある知力だけです。

知力とは見ているだけでは身に付きません。あらゆる場面で貪欲に知恵を吸収し、数多くの事を経験し、そして考える。自分のものにする為に常に学ぶ。この習慣があること、これが知力につながるのです。

当社の従業員に求めるものは、コミュニケーションと学ぶ習慣です。